

授業科目名	【G】 【EF】	プレゼミⅡ プレゼミⅡ	区分 必修	開講年次	【G】1 【EF】1	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	現代社会の動きを知る			担当者	百花草 浩治		
授業概要	【概要】	新聞記事を全員で読むことを通じて、現代社会の動きを知り、また、その背景事情に迫る。					
	【到達目標】	① 毎日、新聞を読む習慣を身につける。 ② 社会の動きに関心を持つことができるようになる。 ③ 社会で日々、起こる出来事の背景事情に関心を持つことができるようになる。 以上の3点を目標としたい。					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)					
他科目との関連性	プレゼミⅠで学習したことを活かしてもらいたい。 2年次の法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ、3・4年次の研究会Ⅰ・Ⅱでの学習につながるような主体的な取り組みを期待したい。						
教科書	特に指定しない。						
参考書	いわゆる全国紙。および、その縮刷版など。						
評価方法	授業への取組状況全体を総合的に評価する。(自己の発表担当回60%、それ以外の回40%) ただし、自らの発表が行われることが評価の大前提である。						
フィードバック方法	講義内容に関する質問等は随時、受け付ける。必要に応じて、講義でもそれに触れる。						
評価基準	原則として、全15回のうち、少なくとも12回以上の「出席」を単位認定の前提とする。担当したテーマにつき、よく理解し、自己の見解を適切に表現できた者について、その程度に応じて、「S」または「A」とする。理解度や表現内容がなお十分とはいえない者は、その程度に応じて、「B」または「C」とする。担当したテーマにつき、理解の度合いや報告内容が最低限度に達していない者について、その程度に応じて「D」または「E」とする。自らの発表が行われなかった場合、あるいは、欠席回数が著しく多いなど、評価不能な場合「F」とする。						
その他	特になし。						

授 業 科目名	【 G 】	プレゼミⅡ	区 分	開講年次	【 G 】1	単位数	【 G 】2
	【EF】	プレゼミⅡ	必 修		【EF】1		【EF】2
授業内容	<p>【1回目～4回目あたり】 1週間の新聞記事の中から、いくつかを選んで全員で読む。</p> <p>【5回目あたり～10回目あたり】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介する。なぜ、その記事に関心を持ったのかについても、あわせてコメントをする。</p> <p>【11回目あたり以降】 自分で興味のある新聞記事を選んできて、それを他の参加者に紹介するだけでなく、加えて、その背景事情などについてもできる限り自ら調査をし、わかりやすく説明する。 他の参加者は、それに対して、その説明においてわかりにくい点などを質問する。</p>						
予習内容	<p>発表内容が確定している場合には、その事項について、各自、調査して、疑問点を明確にしておいてもらいたい。 授業ごとの予習時間は90分程度を目安としてください。</p>						
復習内容	<p>特に、復習をしっかりとってもらいたい。 授業内容を整理・確認したうえで、何らかの疑問が出てこれば、自ら調べる、あるいは、次回の授業でぜひ質問してもらいたい。 授業ごとの復習時間は90分程度を目安としてください。</p>						

科目コード B000-2-Y